

令和2年度子育て支援に関するアンケート

調査結果報告書

I 調査概要

1. 調査の目的

地域の子どもや家庭の実情、子育て支援に関するニーズを踏まえ、今後山県市社会福祉協議会の地域福祉事業である子育て支援事業を検討するため、以下のアンケート調査を実施。

2. 調査の実施方法

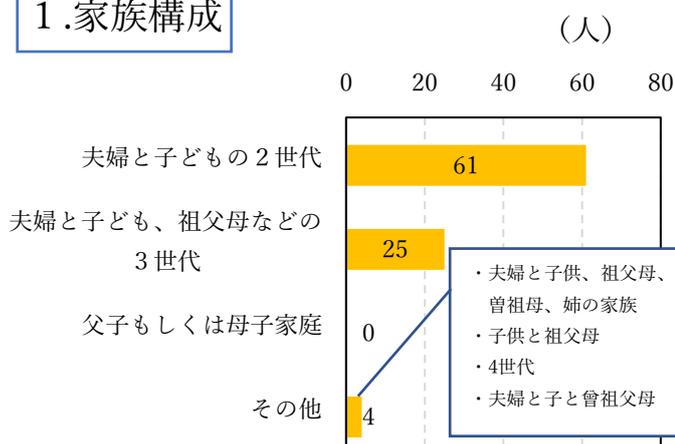
対象者	山県市で出生した乳児の保護者
実施期間	令和2年4月1日か令和3年3月31日まで
実施方法	①出生祝い記念品贈呈事業申請書と併せてアンケート用紙を配付 ②LINE、メールで出生祝い記念品贈呈事業申請された場合は、WebアンケートページのURLを送信

3. アンケート回収結果

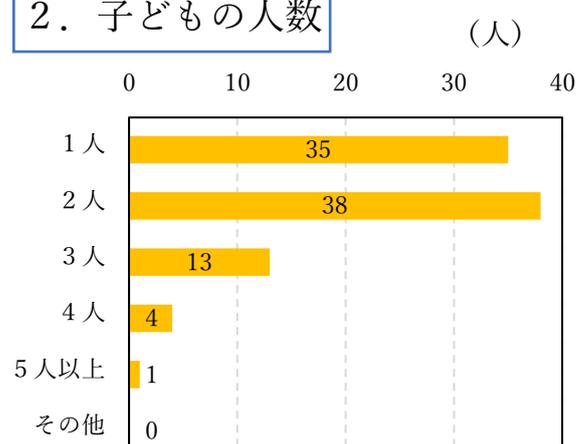
配布対象と配布世帯数	回答数
①申請書を通しての回答（質問項目1～14）	35件
②Webサイトからの回答（質問項目1～3・6・7・9～14） ※Webサイトアンケートでは質問数の制限があり質問項目4・8・5を省略	55件

II アンケート結果

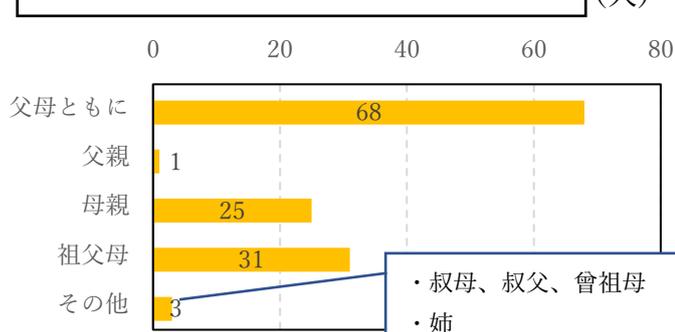
1. 家族構成



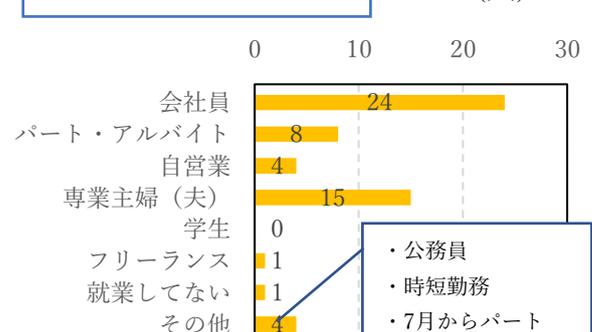
2. 子どもの人数



3. 主に子育てに携わっている方

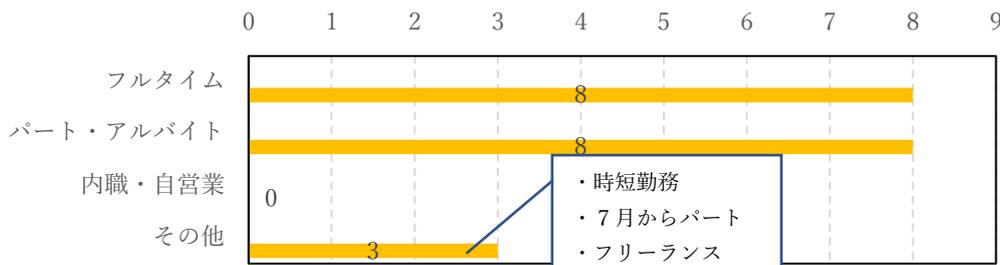


4. 3. の方の職業



5. 両親ともに働いている場合の勤務形態

(人)



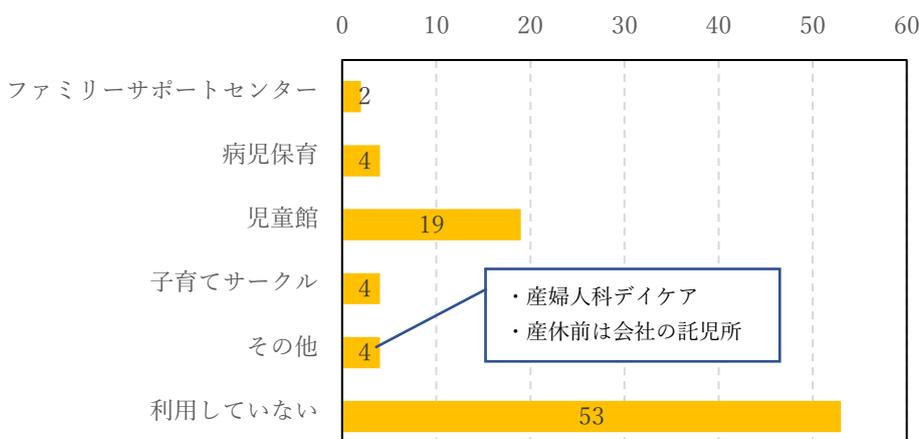
【考察】

家族構成については、「夫婦と子どもの2世帯」が最も多い。次いで、「夫婦と子ども、祖父母などの3世代」が多いことから核家族化が進んでいると考えられる。

また、子育てに携わっている方は「父母ともに」が最も多く全体の約半数を占めており、性別関係なく子育てに携わっていることがうかがえる。

次に、子育てに携わっている方の職業を見ると、就業している方が約70%、専業主婦（夫）、就業していないが約30%であり半数以上の世帯が就業しながら子育てをしている。

6. 利用している子育て支援サービス



7. どのような子育て支援サービスを望みますか。

- ・岐阜市のホームページにあるのように保育園の空き情報や人数など提示してもらえるとありがたい。
- ・送迎サービス 保育園⇆自宅など 働いてみえるお母さんにはあると便利では？
- ・ママ友サークルなどで利用できる貸切スペース。カフェが隣接する児童館
- ・まだまだコロナの影響で利用できないため、コロナ対策がしてあるサービスを利用できるようになってほしい
- ・サービスではないが、公園をもう少し整備してほしい。
- ・母がネパール人なので日本語を教えてもらえるようなサービスがあるといい
- ・母乳支援
- ・施設が充実（公園の整備、授乳室、おむつ交換台）してくれると利用頻度が増えると思う
- ・生後1～10ヶ月の赤ちゃんを家（自宅）で見てくれるベビーシッターサービスがあると助かります。
(母乳&家で仕事をしているので)

【考察】

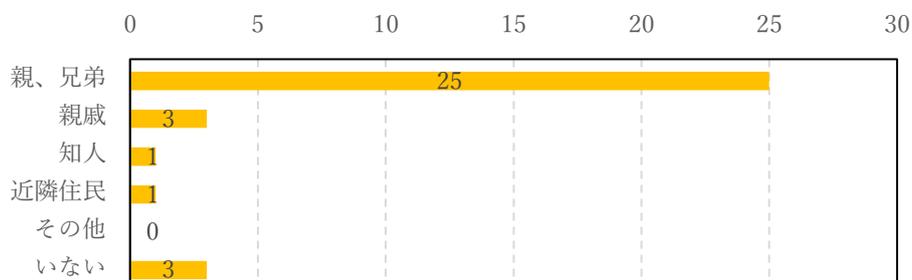
子育て支援サービスの利用状況を見ると「利用していない」が最も多く、半数以上が子育て支援サービスを利用していないことがうかがえる。利用しているサービスとしては「児童館」が最も多く次に、「子育てサークル」「病児保育」が同数、次いで「ファミリーサポートセンター」となっている。

望んでいるサービスとしては、公園の整備や貸切スペース、コロナ対策がしてあるサービスを利用できるようにしてほしいという声が多く見られた。

コロナ禍で外出自粛や三密の回避を求められている中で、安心して子育てのできる環境を整備していかなければならないと感じた。

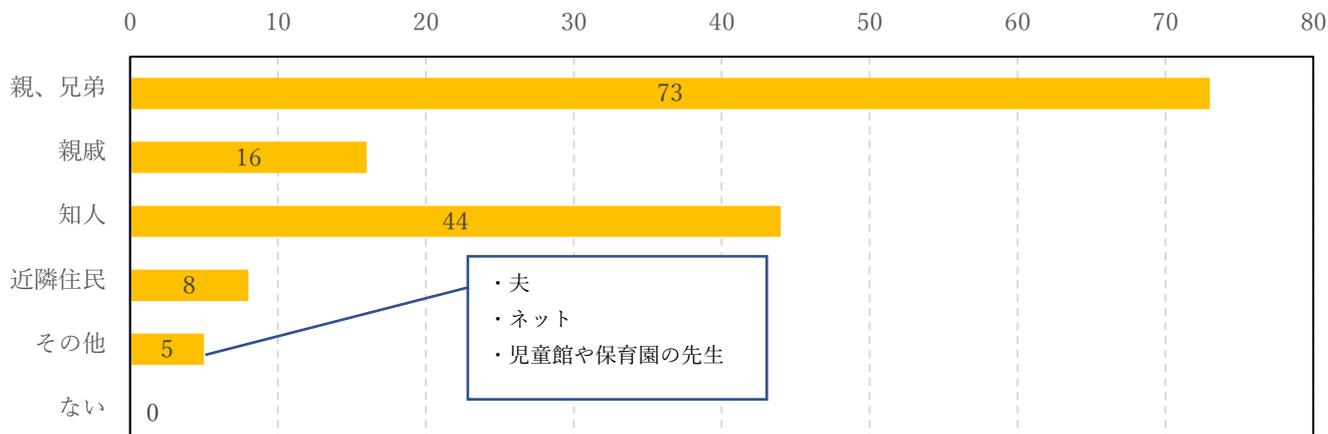
8. 何かあったときに子どもを預けられる人が近くにいますか。(複数回答可)

(人)



9. 子育てについて相談できる人はいますか。(複数回答可)

(人)



10. 9で「ない」と回答した方でどこになれば相談できそうですか。

回答なし

11. 現在、子育てについて困っていることや不安はありますか。

コロナ関係

- ・コロナで生活環境が以前と変わり、戸惑いがある。
- ・子育てと仕事の両立が出来るかどうか不安。コロナの影響で外出が出来ないので、親子の知り合いがいない。子供の成長を比較するものや子育ての情報がなくて、子育てに不安がある。

- ・市の健診がなくなり、第三者と話せる場が少なくなったこと。少人数で開催してほしい。小児科で健診する方が色々な人がいるので、不安は変わらない。

その他

- ・育休明けに預けられるところがあるかどうか。
- ・生まれつき心臓に穴が空いているので、それが心配です
- ・日本語がわからない
- ・引っ越してきたばかりなので知り合いがいない
- ・下の子を見ているときに上の子がイヤイヤ期なので思うようにしてくれないとイライラしてしまう。上の子（2歳）の指しゃぶりがやめられないので不安です。
- ・金銭面など不安がある。

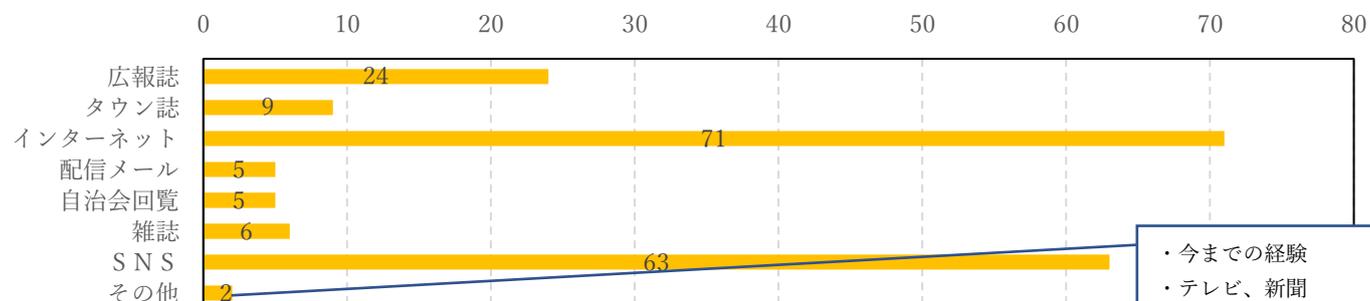
12. 子育てにストレスを感じたときどのように行動していますか

(人)



13. 日頃、どのような媒体で情報収集をしていますか。

(人)



【考察】

何かあった時に子どもを預けられる人は「親、兄弟」が大多数であり大半の方が身内に子どもを預けることができる状況である。預けられる人がいないと答えた方は、全体の10%未満である。

また、子育てについての相談相手としては、最も多いのは「親、兄弟」で、次に「知人」が多いという結果であり、子育て世代間でのコミュニティが構築されつつあるのではないかと考えられる。また、相談相手がいないと回答した方はいなかった。

子育てについて困っていること、子どもの発達についての不安もいくつかあったが、今年度はコロナの影響もあり保護者同士が関わる機会が減少したことで情報交換ができず不安に思っている方が多くみられた。

また、情報収集をしている媒体としては、広報誌やタウン誌などの紙媒体よりもインターネットやSNSなどの電子媒体の方が多い。

14. 出生のお祝いに絵本を贈呈していますが、この事業に関する率直な意見や感想がありましたらご記入ください。

- ・とても有難いです。
- ・どのような絵本を読むといいのか迷っていてあまり読めずにいたので、良いきっかけとなりました。素敵な取り組みをありがとうございます。
- ・嬉しいです。
- ・素敵な絵本がたくさんあるので有り難いです。
- ・本は何冊あってもいいと思っているのですごく嬉しいです。
- ・お祝いに絵本がもらえるのはありがたいです。
- ・たくさんの種類の絵本があって選びやすいのと、プレゼントをいただけるのはとっても嬉しいです。
- ・ありがたいです。
- ・とっても嬉しいです。上の子の時もいただき上の子が大きくなって出生お祝いでもらったよと話したらとても喜んでいました。
- ・こんな事業があると知りびっくりしました。本がいただけるなんてとっても嬉しいです。ありがとうございます！
- ・とてもうれしいです。
- ・すばらしい事業だと思います。山口市は他県からきた私にもとても子育て支援が充実していて、子育てをするなら山口市だと思っています。少しでもこんなふうプレゼントやお祝い金をいただけて本当にありがとうございます。
- ・絵本の贈呈とてもありがたいと思います。出生お祝いにプレゼントとして市からいただいた記念として残るのでうれしいです。これからもずっと続けてもらいたいです。
- ・人気の絵本ばかりで有難いしうれしい。
- ・ありがたいです。
- ・絵本をたくさん読んで育てたいと思っているのでとてもうれしいです。
- ・本を買うことがないのでうれしいです。
- ・本がいただけてとてもうれしく思います。
- ・絵本が好きなのでありがたいです。
- ・とてもうれしいです。ありがとうございます。
- ・ありがとうございます。姉の時は植木だったのですが、親に「何で変わった？」と聞かれるぐらいです。

【考察】

事業に対して多くの喜びの感想をいただくことができた。絵本を通して子どもとのコミュニケーションを図ることができ子育て支援につながっていると感じた。また、民生児童委員が絵本を配達することで、普段関わることの少ない子育て世代と民生児童委員の繋がりを創出することができた。